

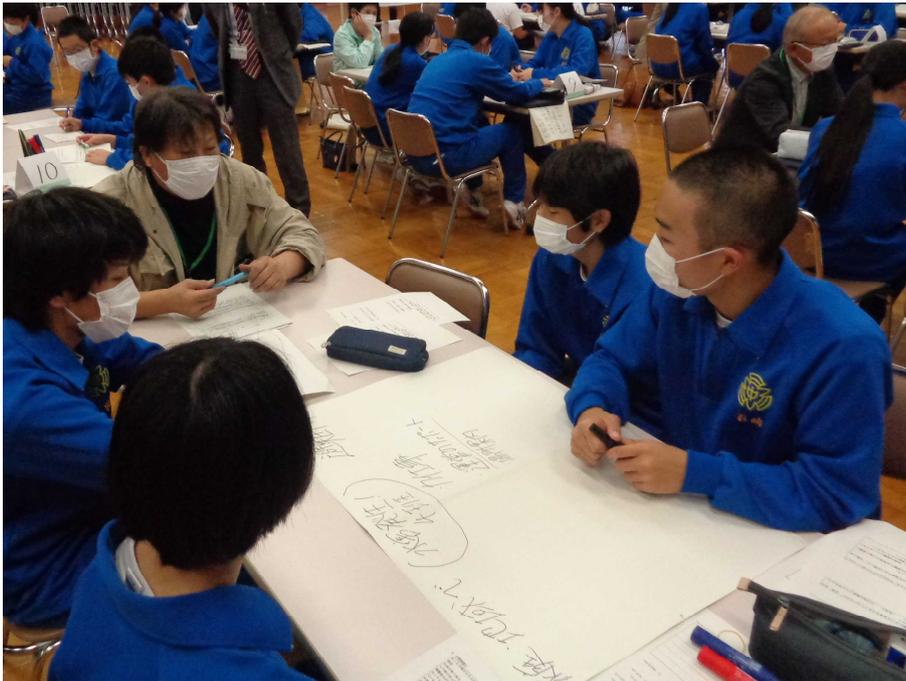


月潟中学校 学校だより

翔 舞

第10号

令和4年11月21日
発行
新潟市立月潟中学校
新潟市南区月潟740



南区区づくり事業
「未来創造教室」

月潟 子ども サミット ～水害に負けない 月潟をつくるには～

校長 小竹 智

9月29日から11月8日
まで、総合の時間を全校
でそろえ、10時間にわた

り水害を中心とした防災学習に取り組んできました。先人がどのように水と関わってきたのか、水害を減らすためにどのような取組を行ってきたのか、避難所とはどのようなところで、どのようなものがあるのか、被害を拡大しないために事前に何をすればよいか、水害が発生したときの中学生の役割は何かなどを外部の講師の方のお話を聞いたり、話し合ったりして学習を深めてきました。

特に11月1日は、たくさんの地域の方から、上の写真のように各縦割班にはいっていただき、話し合いに参加してもらいました。生徒だけでは気がつかないことをアドバイスしてもらい、見方を広げることができました。ご参加いただいた地域の皆様、ありがとうございます。

今回の学習を経て、生徒は家庭内の絆を深めるとともに、地域とのかかわりに目を向けることができました。災害時に地域の一員として、活動できる生徒であって欲しいと願っています。

生徒の振り返り作文の要約、抜粋を紹介します。

地域の方からお話を聞いたことが印象に残っています。僕が考えつかない対策などを教えてもらいました。これから、いつ水害がおきても学生も大人の手伝いをして、被害を軽くできるように頑張りたいと思いました。今回学んだことを生かして、家でも対策をしていきたいと思います。(3年 T)



最初、自分たちの地域である月潟は水害にはあわないだろうと思っていました。しかし、ハザードマップを確認してみると中ノ口川周辺はとても危険だし、月潟全体が水につかってしまう可能性があることがわかりました。家には90歳代の祖祖母もいるので家族全員が安全に避難できるように情報の確認など、自分ができることを探そうと思います。日頃から学んだことを生かせるようにしていきたいです。(2年 K)



100年前に大河津分水ができたことで水害がとても減ったということがわかりました。しかし、水害の危険が完全になくなった訳ではないので、水害が起きたら中学生に何ができるかの考えました。避難所では、小さい子どものお世話や高齢者と話をしたり声がけしたりして、率先して動きたいと思います。昨年と今年の「子どもサミット」で全校生徒で防災についての知識をたくさん得ました。家族と話をし、防災について考えていきたいです。



(2年 W)

今まで防災のことをあまり知らなかったし、知ろうとも思いませんでした。今回の学習で、災害はいつ起こるかわからないので、備えをしておくが大切だとわかりました。昔の人たちがいろいろな対策をしたおかげで、私たちは安全な暮らしができていますとわかりました。感謝したいと思いました。今回の防災学習で学んだことを覚えておき、万が一の時に役立てたいと思いました。



(1年 N)

最優秀賞受賞 おめでとう！

全国中学生人権作文コンテストの新津協議会での審査結果が届きました。応募総数1,765編の中から、月潟中学校の生徒の作文2編が最優秀賞を受賞しました。最優秀賞は、最上位の賞で応募作品全体から4編しか選ばれない素晴らしい賞です。二人とも、人と人とのかわりを真剣に考え一生懸命に書いてくれました。心から祝福したいと思います。

全校生徒が、作文を書くことを通して、人権について真剣に考えてくれました。一人一人の思いが、誰にとっても居心地のよい学校をつくっていると思います。今後も、人権意識を大切にしていきたいです。

WEB版では

個人情報保護のため

写真は削除しました

令和4年度中学生人権作文コンテスト 新津人権擁護委員協議会審査結果

最優秀賞 月潟中学校 1年 T 「忘れられない温かいもの」
月潟中学校 1年 N 「残された傷」

